



2月号

令和4年1月31日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 鬼は外！ 福は内！

副校長 阿久井 勲

1年で最も寒い時期とされる大寒（1月20日）を過ぎ、2月になります。私が小学生の頃は、学校まで遠かったのですが、途中で畑がある道を登校班で歩いていきました。地面には霜が降りていて、踏むとサクサクしていてその感触を楽しんだのを思い出します。うれしかったのは、畑の隅で焚火をしていて、火にあたると凍えた手や体が生き返ることでした。

2月に入ると節分がやってきます。節分とは、季節の分かれ目を指し、もともとは立春、立夏、立秋、立冬の前の日だったのですが、今では、立春の前の日だけをいうようになりました。立春とは、春が立つと書き、初めて春の気配が現れるという意味です。現代では国立天文台の観測によって「太陽黄経が315度になった瞬間が属する日」を立春としていますので、その前日が節分です。今年の節分は、2月3日です。節分には一般的に邪気を払い、無病息災を願う行事を行うとされています。「季節の変わり目は邪気が入りやすい」と考えられ、また、この時期はまだ寒く体調を崩しやすいことから、邪気を祓い清め、一年間の無病息災を祈る行事として追儺（ついな）という行事が行われてきました。

いつの頃からか追儺（ついな）は、豆をまいて鬼を祓い無病息災を願う節分という行事として、庶民の間に広まり定着しました。10年以上前になると思いますが、学校でも節分に豆まきをする声が聞こえたり、みんなで豆を年の数だけ食べたりしたのを思い出します。2月3日の給食の献立は、節分にちなんで揚げだいや煮魚（いわし）がメニューになっています。

今年の節分は、コロナ禍にあることから無病息災を願うとともに、「コロナ鬼」を追い出して、平穏な春を迎えたいものです。新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない中、再びまん延防止等重点措置が出されてから10日となります。学校内での感染防止対策を徹底するとともに、ご家庭のご協力をいただきながらこの状況乗り越えていきたいと思えます。保護者や地域の皆様におかれましても、どうぞお身体を大切にお過ごしください。



### 入学説明会について

2月7日（月）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が全国的に急拡大している状況を受け、集合しての説明会自体は中止とし、資料の配付のみをおこないます。資料については、学校YouTubeを用いて説明いたします。学校YouTubeは限定公開という形をとりますので、URLを配付資料に同封させていただきます。